

自然環境整備計画(国立公園整備事業)
【令和3年度～令和7年度】

やまがたけん
山形県

令和2年12月

自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	山形県	個別地域	磐梯朝日国立公園(出羽三山地域)
-------	-----	------	------------------

計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度
------	-------------------

<p>目標</p> <p>大目標：自然公園施設の整備により、適正な公園利用の促進と利便性の向上を図る。 目標1：利用施設の老朽化対策に資する整備による利用者の安全確保 目標2：訪日外国人の快適な公園利用に資する整備</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>個別地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形県の中央にそびえる月山は、隣接する羽黒山、湯殿山とともに出羽三山とよばれ、かつては東日本一の霊場として栄え、現在も登山観光者にまじって白装束に身を包んだ信者の姿が絶えることがない。 月山は、深田久弥の「日本百名山」とともに田中澄江の「花の百名山」にも選ばれ、貴重な高山植物や湿原の花畑など、美しい高山景観や豊かな自然環境に恵まれている。 交通の利便性が良く、観光の拠点として重要な地域であり、県内外からの利用者が多く訪れるため、歩道やトイレ等施設の利用率は高い。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然公園内の公園施設等について、豪雪等の厳しい自然条件下にあり、整備後相当の年月が経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。 アフターコロナの外国人ツアー観光客増加に備えて、外国人の利用も想定した整備計画も考えていく必要がある。

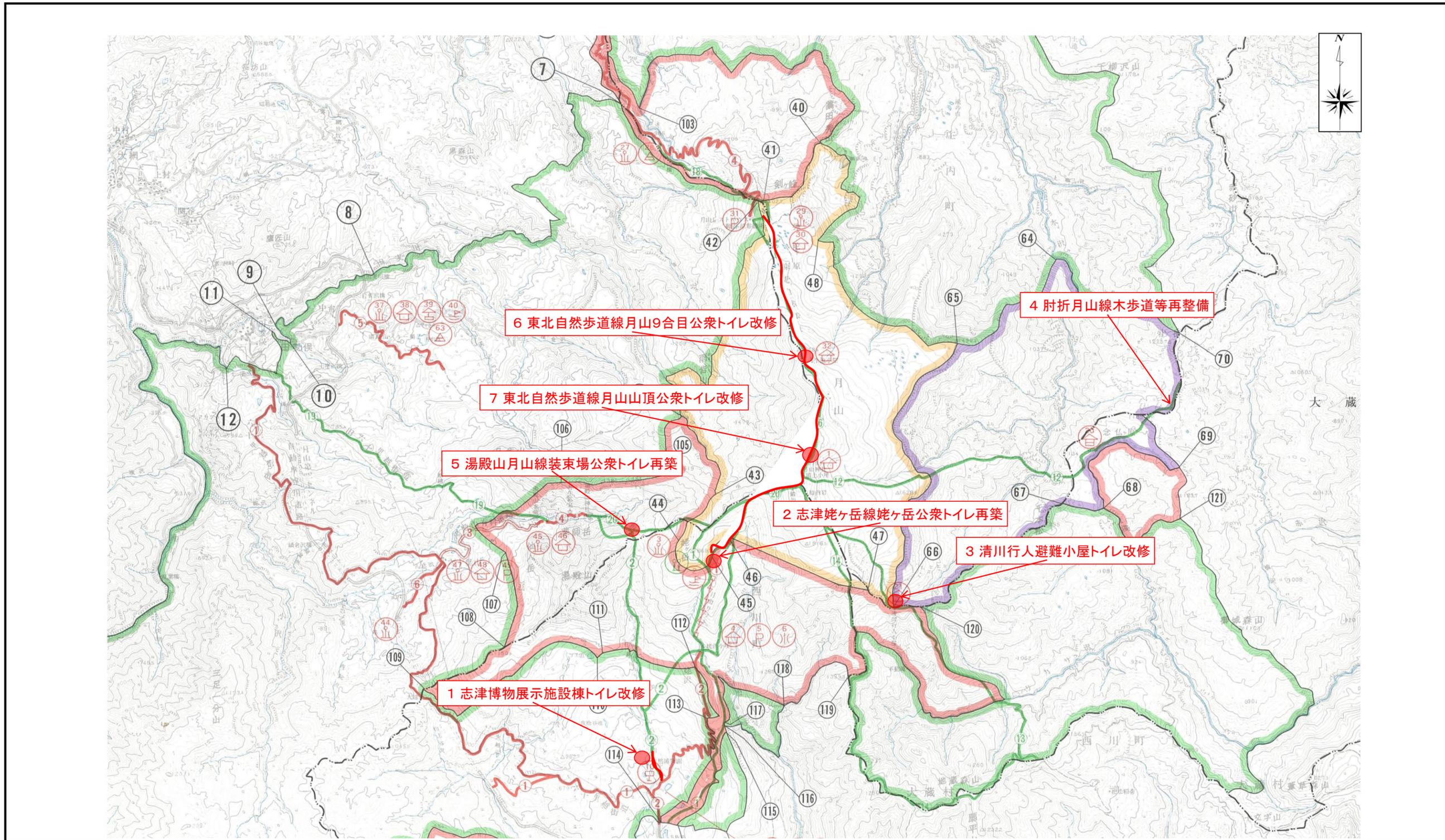
個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<p>整備方針（安全性・利便性の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が多く見込まれる箇所の公衆トイレについては、洋式化の推進等、外国人の利用にも配慮する。 経年劣化している木歩道等を再整備することにより、利用者の安全や利便性を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 志津博物展示施設 志津姥ヶ岳線歩道 肘折月山線歩道 湯殿山月山線歩道 東北自然歩道線歩道(1) 東北自然歩道線歩道(2)
<p>整備方針（環境の保全）</p> <ul style="list-style-type: none"> 公衆トイレを改修または再築することにより、トイレの無臭化や周辺環境の保全を図る。 木歩道等の再整備により、植生箇所への踏み込みを防止し、貴重な高山植物を保護する。 	<ul style="list-style-type: none"> 志津姥ヶ岳線歩道 清川行人避難小屋 肘折月山線歩道 湯殿山月山線歩道 東北自然歩道線歩道(1) 東北自然歩道線歩道(2)
<ul style="list-style-type: none"> 	

目標を定量化する指標									
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値			
						基準年度	目標年度	目標値	目標年度
公園利用者数	千人	利用者数の増減数値	自然公園利用者数(環境省)における出羽三山朝日地域の数値	「安全性・利便性の向上」に対応する指標として、利用者の増減を目標値と定める。既存施設の再整備のみであり、公園全体から見ればほんの一部の施設であることから、即効性が見込めないため、目標値は従前値と同じ値とする。	1200.0	平成30年度	1200.0	令和7年度	

<p>その他必要な事項</p>

(参考) 自然環境整備計画(国立公園整備事業)(山形県)の概要図

個別地域	磐梯朝日国立公園(出羽三山地域)	所在地	ニシカワ マチ 西川町、 オオクラムラ 大蔵村、 ツルオカシ 鶴岡市
------	------------------	-----	---



自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	山形県	個別地域	磐梯朝日国立公園(吾妻地域)
計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度		

目標
 老朽化した自然公園施設等の再整備により、利用者の安全や利便性の向上を推進させる

目標設定の根拠

個別地域の現状
 ・磐梯朝日国立公園の一角である吾妻連峰は、山形県と福島県に横たわる標高2000m級のピークを幾つも連ねた東北を代表するスケールの大きい山岳地域である。
 ・山容が異なる西吾妻山群と東吾妻山群に大別され、最高峰である西吾妻山へは、天元台ロープウェイやリフトが山頂付近まで延びており、比較的容易に登頂できる利便性を備えている。
 ・山麓、山中には温泉が多く、国の天然記念物のヤエハクサンシャクナゲが自生するなど様々な高山植物が見られ、豊かな自然に恵まれている。

課題
 ・公園内の歩道等施設について、豪雪等の厳しい自然条件下にあり、整備後相当の年月が経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。
 ・経年劣化等により機能低下している公園施設が見られることから、突風などの自然災害による損壊等により、人身被害や事故等のおそれがある。

個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
整備方針(安全性・利便性の向上) ・老朽化している橋梁を再整備することにより、利用者の安全や利便性の向上を図る。	・滑川温泉弥兵衛平線歩道
・	
・	

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
					基準年度	目標年度		
公園利用者数	千人	利用者数の増減数値	自然公園利用者数(環境省)における吾妻地域の数値	「安全性・利便性の向上」に対応する指標として、利用者の増減を目標値と定める。既存施設の再整備のみであり、公園全体から見ればほんの一部の施設であることから、即効性が見込めないため、目標値は従前値と同じ値とする。	129.2	平成30年度	129.2	令和7年度

その他必要な事項

(参考) 自然環境整備計画(国立公園整備事業)(山形県)の概要図

個別地域	磐梯朝日国立公園(吾妻地域)	所在地	ヨネザワシ 米沢市
------	----------------	-----	--------------

